

上尾中央総合病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記のお問合せ先にご連絡下さい。

課題名	重度酸素化障害は退院時の認知機能に影響を与えるか
受付番号	1092
当院の研究責任者（所属）	町田直之（リハビリテーション技術科）
研究者等（所属）	岡田康介、倉持陽太、馬場優季、小野田翔太（リハビリテーション技術科）
研究期間	2023年1月27日～2023年11月30日
調査データ対象期間	2021年6月1日～2022年12月31日
本研究の目的	集中治療室にて低酸素血症を呈し酸素療法を必要とした患者に対してリハビリ介入場面で意識障害の遷延、注意散漫、記憶力の低下を一過性ないし恒常的に生じる場面がある。生活指導は服薬管理など再発予防に有効といわれているが、低酸素血症を呈した症例では注意力低下や記憶力低下を合併し、生活指導に難渋することを多く経験する。そこで本研究では、低酸素血症と認知機能低下の関係性を明らかにすることを目的とする。
対象となる患者さん	調査データ対象期間に ICU、HCU 病棟に入室し血液ガス検査を実施し重度酸素化障害を呈した患者さん
利用する試料・情報	MMSE-J（認知症スクリーニング検査）、ICDSC（成人患者のせん妄を評価するアセスメントツール）、酸素療法離脱日数、ICU、HCU 在室日数、人工呼吸器管理有無、動脈血液ガス検査、血液検査データ、基本情報(性別、身長、体重、疾患名、リハビリ開始時期、離床開始時期、転帰先)
試料・情報の他の研究機関への提供の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り（ ）
個人情報の保護に関する情報	利用する情報から氏名や住所等の患者さんの特定につながる個人情報は削除します。研究成果は学会や学術誌等で発表する可能性がありますが、その際は患者さんを特定できない形で行います。
本研究の資金源（利益相反）	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り（ ）
倫理審査等の経過	第 255 回上尾中央総合病院倫理委員会にて承認
公開日	2023年2月3日
オプトアウト期間	<input checked="" type="checkbox"/> 公開日から1か月 <input type="checkbox"/> 当該疾患の当院受診日から1か月
お問合せ先	電話番号 048-773-1111（代表） 上尾中央総合病院 クリニカルリサーチセンター 情報管理部・組織管理課 又は 薬剤部・治験管理科